

第13回(通算1671回)例会報告	令和6年10月4日(金)	米山記念奨学担当例会
ゲスト	米山奨学生 ツオルモン アリウナーさん	
出席報告	総会員数57名(計算会員数52名) 欠席7名 出席率86.54% 前々回修正出席率83.67%	
歌/会場	国歌・奉仕の理想	会場：ロワジールホテル豊橋 30F「ル・モン」12:30～

会長の時間



本多英司会長

みなさんこんにちは。
 先月の中秋の名月は、ちょっとだけいいところで見えました。季節外れの暑さでしたが、雲もなく、とてもきれいな月夜でした。紅葉とかも少し遅れそうな感じですが、スポーツに、食欲にと、日本の秋を楽しんでいきたいと思っています。

今週の会長の時間は、先週お話しした通り、9月13日に開催された理事会のご報告をさせていただきます。今回の理事会は盛りだくさんの内容でしたので、少し早口になるかもしれませんが、主だったところをご報告いたします。

まずは例会について。

- ① 10月4日(今日ですね) 米山記念奨学担当例会の内容を承認致しました。今日は、米山奨学生であるツオルモン アリウナーさんのお話をお聞きます。とても楽しみです。アリウナーさん、よろしくお願ひします。
- ② 10月11日 社会奉仕担当例会の内容を承認致しました。保永社会奉仕委員長が卓話をしていただけます。きっと保永委員長の熱い思いが伝わってきます。
- ③ 10月18日 社会奉仕委員会のフォーラムについて承認致しました。フォーラムテーマは「ブランドとなる社会奉仕活動へ」。前回7月のクラブ奉仕フォーラムは夜間例会でしたが、今回は昼間のフォーラムとなります。
- ④ 10月25日 クラブ創立記念例会について、承認しました。今回のクラブ創立記念例会は、高橋プログラム委員長肝いりの、パネルディスカッション形式としました。高井ラーニング委員長がファシリテーターとなって、当クラブ会員の各年代の代表の方がパネラーとなり、豊橋ゴールデンロータリークラブについて様々な意見を交わす、という例会です。パネラーは、チャーターメンバーから大須賀憲太会員、中堅から加藤ゆり子会員、若手から青木一臣会員。

高井委員長の素晴らしいハンドリングの元、本音で語り合う、意義深くも、涙あり、笑いありの、楽しい例会になる予感がしております。

例会以外で、お伝えすることが五つあります。

一つめ、10月7日から予備日をいれて5日間の日程で開催するファイヤーサイドミーティングについて承認いたしました。今年のクラブ方針「選ばれるブランドを共に育てていくためには」について高井ラーニング委員長を中心に、お酒を酌み交わしながら、フランクに語り合います。ここも高井委員長の手腕に期待です。こちらも、涙あり、笑いあり、の楽しいミーティングになる予感がしております。

二つめ、11月17日日曜日開催予定である、豊橋総合動植物公園での社会奉仕活動についての詳細が出てまいりました。今日の臨時理事会にて、案内チラシについて承認しましたので、早々に皆さんにご案内を差し上げられます。ご家族含め、たくさんのご参加をお願いいたします。

三つめ、村松国際奉仕委員長から、8月17日から23日にかけての、ブータン王国現地視察について、ご報告をいただきました。多くの関係者と直接打合せをし、支援予定地も視察できて、事業実施に向けてとても良い成果を得られたとのこと。視察の詳細について、近々例会で、みなさんへのご報告をお願いする予定ですので、楽しみにしててください。

四つめ、地区から「クラブ行動計画推進リーダー選任のお願い」というものが届きました。クラブ行動計画推進リーダーとは、国際ロータリーが今年度になって急遽求めてきた役職で、クラブ会長、エレクト、ノミニーと協力してクラブ発展のための3年計画を立て、それをフォローしていく、という役割です。以前から、国際ロータリーは3年計画について言及してきましたが、いよいよ具体的に行動を始めたな、という感じです。こちらの人選について、理事会にて協議の結果、杉田パスト会長にお願いしたいという事となり、ご本人へお願いしたと

ころ、快くご了承いただきました。杉田パスト会長、ご苦労おかけしますが、よろしくお願いいたします。

最後に、次々年度会長幹事の指名方法について、指名委員会による選挙とする事が理事会で決定承認されました。それを受け、歴代会長の中より選出された3名と、本・次年度の会長幹事の4名を合わせた7名が指名委員会メンバーとなり、10/2に「次々年度会長幹事指名委員会」を開催致しました。今後次年度の人事が進み、11/1の例会で、次年度の理事会メンバーを告示し、その一ヶ月後12/6の年次総会にお諮りすることになると思います。水面下では、もうすでに次年度が動き始めています。ロータリーは「はい」か「イエス」しかないという事ですので、次年度もよろしくお願いいたします。

理事会報告はこれで終了ですが、最後に、インスタグラムの経過報告です。8月末の家族会の時は42フォロワーでしたが、各所での営業活動の結果、1カ月で倍増し、現在81フォロワーまでできました。1000フォロワーまではまだちょっとありますが、まずは目先の100フォロワーの壁を突破したいと思います。アリウナーさんも今日フォローしてくれました。これで82フォロワーになりました。

ちょっと考えたのですが、一般の方もさることながら、特に胸に秘めた新入会員候補者に当Instagramを紹介していただければ、フォロワー数も増え、例会の雰囲気も伝わり、一石二鳥です。会員増強とともに、情報発信のご協力をお願いします。

以上、会長の時間でした。ご清聴ありがとうございました。

米山奨学金贈呈

米山奨学生 ツオルモン アリウナーさん



誕生日祝い

お誕生日おめでとうございます！



尾崎雅輝会員 鈴木 愛会員 辻 信之会員

入会記念日祝い

尾崎雅輝会員



会員スピーチ「波瀾万丈の人生について」



福沢省吾会員

皆さん、今日は。1989年2月10日に入会し、ロータリー歴は今年で36年になる福沢です。よろしくお願いいたします。

先日、事務局から「波瀾万丈の人生」のテーマで会員スピーチの依頼が届きましたが、ロータリーで「例会のスピーチはロータリーに関することを振り込むこと」を学びましたので、今日は依頼テーマを少し振って「波瀾万丈のロータリーライフ」としてお話ししたいと思います。

クラブ入会時の私は、豊橋青年会議所の現役会員で、翌年に控えた全国大会の企画を担当し、また愛知ブロック協議会の副会長として全国大会のアピールの任務を受け持ち、時間に追われる毎日でしたが、それでも入会説明時の出席義務の指導を守り例会は100%出席の会員でした。

当時の例会は、ルールに大変厳しく緊張感溢れる雰囲気で行われていましたが、日々全国大会のことばかりを考えていた私には「ロータリーは想像していたものと違ったスケールの小さい地味でこじんまりとしたもの」に映りました。

このようなロータリアンの私が入会7年目にプログラム委員長を仰せつかり、基本方針に先輩委員長を見習って「有意義な例会」を掲げて46回の例会のプログラムを計画し担当しましたが、年度末になっても「有意義な例会」の意義を見出すことはできませんでした。それはロータリーを知らなかったことに尽きます。

以来、盟友の高畑皓一会員とロータリーをラーニングした私は、2013-2014年度のクラブ創立25周年の会長に就任した高畑会長の幹事として、高畑会員と育んだロータリー観に基づき記念式典や記念事業を中心に47回の例会を運営しました。

その5年後の創立30周年の会長に就いた私は、ロータリー観が同じ高畑会員にSAAをお願いし、ロータリーの奉仕理念に則った例会プログラムを計画しスタートしましたが、8月に高畑会員が病に倒れました。

それでも責任感の強い高畑会員は、病床から喪失感にさらされている私へ「今迄モヤモヤしていた人生の目的がロ

ーターリーの目的と同じであることが最近何となくわかって参りました。言葉を変えれば今をいかに生きるかということに尽きると思います。」と「今を生きる」をテーマとした記念式典、記念事業の成功を祈念する激励のメッセージを送ってくれました。

高畑さんと私が育んだロータリー観は『ロータリーは会員が主役であり、企業でも寄付団体でも慈善事業団体でもない。ロータリークラブは奉仕の志をもつ人々の集まりである。会員はRIが奨励する「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を育む」ために週1回開催する例会に入りてラーニングした奉仕を、出でて実践する。クラブがニコボックスで行なう奉仕事業は会員が実践する奉仕の訓練である』というものでした。

ちなみに私の個人奉仕はライフワークとして取り組んでいる三遠ネオフェニックスをマネジメントすることです。この活動は地方創生を目指して「100年さきの笑顔のために」を理念に掲げ、市民と市民を繋ぎ、市民が地域に誇りを持ち、地域を元気にすることですが、携ってきた23年間は山あり谷ありの波瀾万丈でした。

しかし、この活動で学んだのは、理念の実現にはまず三遠ネオフェニックスが強くなること。それに伴って観客数が増え、チームを支えてくれるスポンサーが増えるという好循環を作ることです。それには市民の認知度向上と地域の特性を生かしたフェニックスの存在を知ってもらう草の根運動が不可欠であるということです。このことは本年度のクラブ方針「選ばれるブランドを育てよう」を実現するのに不可欠な公共イメージ向上運動と同じであると思います。

最後に、かようなロータリーライフから学んだロータリー観の私が考える豊橋ゴールドンロータリークラブが未来永劫かがやくクラブであるには、会員が名称由来である「①金曜日の気楽な仲間の集い、②活力にみちた仲間の集い、③金色のように輝く仲間の集い」を念頭に、例会へ出席してロータリーをラーニングし、そして創立から今日まで連続と紡いできたクラブの歴史とよき伝統を学び、街づくりのリーダーになることではないかと思っています。

以上波瀾万丈のロータリーライフの一端でした。
ご静聴ありがとうございました。

米山記念奨学担当例会

米山記念奨学事業について



辻 信之米山記念奨学委員長
皆様、こんにちは。米山記念奨学委員長の辻です。米山記念奨学担当例会にご出席を頂き誠にありがとうございます。本日、受付でお渡し致しました豆辞典に米山奨学記念事業について内容が詳しくまとめ

てありますので一度お目通し頂ければ幸いです。初めに、ロータリー米山記念奨学事業は、日本のロータリーが作り育てた独自の事業で、34地区、全地区が参加する多地区合同プロジェクトであり一貫して、日本で学ぶ外国人留学生を支援しています。2023-24年度は、ロータリアンからの米山記念事業への寄付金は、14億4千5百万円で寄付金の使途は、事業費のうち83%は奨学金に、そのほか、奨学生・学友関係費、地区・世話クラブへの補助費、事業部門の事務局人件費などにも使われています。

米山事業の使命は将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動のよき理解者となる人材を育成することでありロータリーの目指す「平和と国際理解の推進」には二度と戦争の悲劇を繰り返さない為に国際親善と世界平和に寄与したいという強い願いそのものがあります。

そして、米山記念奨学事業は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。1952年に東京ロータリークラブで構想が立てられ、やがて日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年に文部省の許可を得て、「財団法人ロータリー米山記念奨学会」となりました。2012年1月に「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」に移行し、2017年には、財団50周年を迎えました。これまでに133の国と地域から24,133人の奨学生を支援し、規模と実績ともに民間最大級の国際奨学事業となっております。

この事業を行うために、財源はすべてクラブ会員皆様からのご寄付で成り立っております。つまり、日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奉仕活動であります。事業の特徴として「世話クラブ・カウンセラー制度」が挙げられます。奨学生一人ひとりに、地域のロータリークラブから世話クラブが選ばれ、さらにその会員の中からカウンセラーがついて、奨学生の交流を深め、日本での生活が心豊かなものになるように配慮しております。また、銀行振り込みが多い他の奨学金とは違って、米山奨学生にはクラブのロータリー活動と共に例会に参加して頂き、親睦交流することを大切にしております。また、皆様からの貴重な寄付が増えることが、より多くの奨学生を生むこととなりますので、本年度もクラブ会員の皆様の絶大なるご寄付のご協力をお願い申し上げます。ご案内につきましては、事務局から郵送により発送させていただきましたのでご確認を宜しくお願い致します。

本年度は、奨学生世話クラブを受けて、米山奨学生ツオルモン アリウナーさんを受け入れ真野義和カウンセラーの支えの下、奨学事業の具体的事業を遂行する機会を得ております。そこで米山奨学生ツオルモン アリウナーさんの卓話を聞いて頂き、親しく交流する中で彼女のお人柄、将来の夢・希望・米山奨学生で学んだことや事業の意義を理解しながら、会員全員が彼女との心の触れ合いを深めて頂き会員の皆様のより一層の米山事業へのご理解を深めて頂きたいと思っております。では、ツオルモン アリウナーさん、卓話を宜しくお願い致します。ご静聴ありがとうございました。

米山奨学金 ツオルモン アリウナーさん



日本とモンゴルの暮らしの違い

生活環境

- ・出金では「ゲル」(家牧長の住居)での生活が一般的。広々とした空間、自然と密接なつながりを持つ。都市部ではアパートもあるが、自然との深い結びつきがある。
- ・都市部では小さく効率的に設計された住居が一般的。整理整頓やミニマリスティックな生活習慣が奨励される。限られたスペースを最大限に活用するための工夫が豊富。

社会的雰囲気と文化

- ・オープンでフレンドリーな文化。
- ・家族やコミュニティのつながりが強く、訪問者にはお茶や食べ物などをすぐに提供する。
- ・地方では特にコミュニティ全体で助け合う文化が根強い。

紹介

- ・日本に留学している自分の視点から話す。
- ・日本とモンゴルの違いに初めて気づいた時の印象。
- ・スピーチの焦点：食べ物、生活環境、気候、雰囲気など、日常生活に関わる部分。

食べ物と料理

- ・肉料理(羊肉、牛肉)が中心の食事。
- ・伝統料理：フーズ(蒸し餃子)、ホーショール(揚げ餃子)、アイラグ(発酵した牛乳)、乳製品が重要な役割を果たす。
- ・軽くてバランスの取れた食事を中心。
- ・伝統料理：寿司、ラーメン、天ぷらなど、魚介や野菜が多い。
- ・季節の食材を重視し、春には桜餅、秋には栗やさつまいもなど季節ごとに異なる食文化。

社会的雰囲気と文化

- ・控えて礼儀正しい社会、形式を重視。
- ・本音と建前を使い分ける文化があり、相手に配慮することが大切。
- ・人間関係は慎重で、特に公共の場では非常に丁寧な振る舞いが求められる。



公共スペースと交通

- ・広大な自然が公共スペースの一部として存在。
- ・都市部では交通が混雑することもあるが、地方では車や馬が主な移動手段、公共交通機関の整備が都市部でもあまり発達していない。
- ・公園や公共スペースが小さくても美しく手入れされている。
- ・都市部で発達した公共交通機関(電車や地下鉄)があり、時間通りに運行。
- ・都市部でも格納に移動できる便利な交通システムが整備されている。

★ニコボックス
 本多英司・鬼頭秀幸：アリウナーさんの卓話楽しみです。よろしくお願ひ。
 小笠原英彦：四つのテストを唱和させて頂き。
 辻 信之・尾崎雅輝・鈴木 愛：誕生日をお祝ひ頂き。
 尾崎雅輝：入会記念日をお祝ひ頂き。
 福沢省吾：会員スピーチをさせて頂き。
 辻 信之：アリウナーさんの卓話を聞いて頂き、米山事業へのご理解を深めて頂きますようよろしくお願ひ。

真野善和：ルナさんの卓話です。よろしくお願ひ。
 岡本久永・太田和彦：辻米山記念奨学委員長、アリウナーさん、卓話がんばって！！
 鶴殿健次：元気ですか！ドラゴンズ最終戦応援に行きます。立浪ドラゴンズ最後の戦いです。がんばれドラゴンズ
 三浦時子・三輪桂司：ゆとり例会後のゴルフ楽しかったです。
 夏の家族会参加者(3名):写真をありがとうございます。
 青木一臣ニコボックス委員長

★幹事報告
 ・ロータリー希望の風奨学金への支援協力のお願ひ、ロータリー米山記念奨学会より 2023 年事業報告書と決算報告、豊橋 RAC より招待行事のご案内が届いております。

★他クラブの例会変更
 ■10月18日(金) 新城RC 職場例会
 ■10月22日(火) 宝 飯RC 豊川RCと合同例会
 豊橋北RC クラブフォーラム
 ■10月23日(水) 豊 川RC 豊川宝飯RCと合同例会